

子どもたちの生きた生活の現場は、実に多くのことがらがいろいろ組んで動いている。もしも、その中にはたらいている要因を分析しようとしたならば、

とても複雑なものになるだろう。保育の現場は、それを分析することが仕事なのでもないし、いくつかつかり出した要因を組み立てて、それにあてはめて子どもを動かすところでもない。保育

の現場では、一瞬一瞬に、それぞれの子どもいろいろの思いが交錯して動いており、保育者である大人も、その中のひとりである。大人もまた、生きて動いている。そこで保育者のすることとは、自分もその中の一員として、そこで起こっていることに素直に直面し、重要と感じられることをつかみとって動くことであろう。子どものひとりひとりに、輝いた眼と、笑いがあるならば、それはよい保育の場となっていると考えてよい。保育者の側からいうならば、思ってもいなかったことにぶつかつて、自分もその中から学ぶものが

あったという満足感をもって一日の保育を終わることができれば、幸いである。

保育者にとって、何よりもいちばんよい書物は、子どもの生きた姿そのものであることに間違いはない。読む者は、その書物の中に身をひたしてよむ。そのときに、字の表面だけを見ていてはわからないことが、見えてくる。

今月号では「読書のすすめ」を、いろいろの方に書いていただいている。子どもの中にあるよいものを見いだすことができるためには、大人の側に、それを感じることをできる心が用意されていなければならない。それは子どもの中にあつて養われるとともに、高尚な精神をもった書物によつて培われる。入り組んで錯綜しているようにも見える。生きた現実の世界に興味を見出すことのできるような、広い教養は、保育者として成長するのに大切なことである。

(津守 真)

幼児の教育 第七十二巻第九号

九月号

定価二二〇円

昭和四十八年八月二十五日印刷
昭和四十八年九月 一日発行

112 東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

112 東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村一ノ一

印刷所 凸版印刷株式会社

111 東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所 フレーベル館にお願いいたします